

# 北九州市新成長戦略

## ～平成27年度の取組状況

平成28年4月

# I 地域企業が元気に活動し続ける環境整備



1

## 中小企業の競争力向上 (ベンチャー企業の創出・育成)

### ○主な取組状況

○H27年4月

「北九州スタートアップネットワークの会」  
発足

➤ 起業支援を目的に「産学金官」が連携した  
ネットワークを構築  
(会員：起業を目指す人、金融機関、  
企業、学生など約400名)

➤ 「北九州スタートアップラウンジ」  
人や情報の交流の場として毎月開催

・ H27年11月

「女性起業家セミナー&フォーラム」

・ H28年3月

「ママドラフト会議」



「スタートアップラウンジ」



女性を対象にした起業家・就業セミナー

# I 地域企業が元気に活動し続ける環境整備



2

## 中小企業の競争力向上 (ベンチャー企業の創出・育成)

### ○ 主な取組状況

#### ○ H28年3月

##### 「北九州高専との連携協定」締結

- 「北九州スタートアップネットワークの会」での議論から、あらたな人材育成の取り組みに発展
- 起業家と学生が連携して製品開発を行うことにより更なるイノベーションを期待

#### ○ H26年5月

担保・保証料不要、貸付最長20年

##### 「北九州市スタートアップ°支援貸付」創設

- 日本政策金融公庫と自治体の連携  
(日本初)
- 9社7,200万円の融資決定 (H28年3月)



北九州高専との連携協定



株式会社レセプター  
(ポイントカードシステム)  
市長・公庫・銀行共同記者会見

## 充実した物流基盤を活用した物流振興

### ○主な取組状況

#### ●貨物拠点化への取組みと集貨の促進

##### ・九州唯一の国際貨物定期便が運航

- 九州・西中国エリアの企業の物流を支える貨物専用機
- 成田空港で北米、欧州、アジアの路線に接続
- 最新大型貨物機（B747-8F）による運航

##### ・貨物専用エプロンの新設（H28年度供用予定）

- 大型貨物機のノーズオペレーションに対応
- 長尺貨物、重量貨物に対応が可能

##### ・東九州自動車道沿線からの集貨

- 平成28年4月、東九州自動車道(北九州－宮崎)全線開通
- 東九州自動車道沿線の精密機器等の工業製品、鮮魚や野菜などの生鮮貨物の航空輸送の取り込み



最新大型貨物機B747-8F運航



貨物専用エプロンの新設

## 充実した物流基盤を活用した物流振興

### 主な取組状況

#### ■ フェリー航路の輸送力向上

新門司に拠点を置くフェリー3社が  
H27からH28に8隻の新造船を投入。  
(これまでに5隻が就航済)

#### ■ 新規航路の誘致

##### ① コンテナ航路の拡充 (45航路)

国際コンテナ航路が前年比3航路増加、  
内航コンテナ航路も神戸港から京浜港に  
延伸する等サービスが向上。

##### ② 中古自動車輸出の航路拡充

オセアニア・カリブ地域への3航路が  
新たに寄港。

#### ■ 北九州港の取組みをPR

H27.2 東京にて北九州港セミナーを開催  
H27.2 北九州港見学会を開催



### 次世代自動車産業の拠点化

#### ○主な取組状況

#### H27.4 ゼロエミッション交通システム完成

- ・太陽光発電による電力を蓄える大型蓄電池の運用を開始し、廃棄物を一切排出しない全国初のゼロエミッション交通システムが完成。



#### H27.7 NEDO次世代ロボット中核技術開発採択

(九州工業大学・北九州市立大学・早稲田大学)

- ・産総研 人工知能研究センター との連携が開始し、学術研究都市3大学連携による研究開発が加速。  
人工知能を活用した、人間の知能・操縦法を凌ぐ完全自動運転車両の開発を目指す。



#### H28.2 東九州自動車産業シンポジウム開催

- ・東九州の持続的な発展に向けて、本市と大分、宮崎両県の自動車部品メーカーなどが集まり、東九州自動車産業の持続的成長と広域連携の可能性を探った。



### 次世代自動車産業拠点の形成

#### 本市における水素ステーション整備が加速

#### 商用水素ステーション (小倉北区高浜)

#### ○主な取組状況

○H26年10月、岩谷産業(株)による九州初の商用水素ステーションが小倉北区に完成



○スマート水素ステーションを若松区に整備 (H26年12月)

#### スマート水素ステーション (エコタウンセンター)

○H27年12月にJXエネルギー(株)による商用水素ステーションが八幡東区に完成



# 我が国をリードするロボット産業拠点の形成

## ○主な取組状況

### 1 民生用（サービス）ロボットの開発支援

◆介護施設におけるロボットの導入実証を行い、現場ニーズに基づく新たな開発と実用化を目指す。

⇒「国家戦略特区」指定（H28年1月）

◆老朽化インフラの点検作業の効率化を図るため、点検ロボットの開発・実証支援を行う。

### 2 地域企業のロボット導入支援

◆地元製造業の生産性向上を図るため、ロボットの導入相談を行う「産業用ロボット導入支援センター」を運営するほか、企業への導入補助を行う。また、システムインテグレーターを育成する講座を新たに開設する。

⇒経済産業省「カイゼン指導者育成事業」採択（H27年6月、H28年3月）

#### 介護ロボット



#### インフラ点検ロボット



#### 産業用ロボット



## 豊富な実績等を活かした環境産業拠点の形成

### 古着リサイクル事業

#### ○ 主な取組状況

家庭に加え、事業所でのリサイクルの取組を拡大

#### ■ 回収拡大状況(H27)

##### ○ 事業所の制服・作業服等の回収

- ・ (株)安川電機
- ・ (株)西日本シティ銀行
- ・ ワタキューセイモア(株) 等

##### ○ 従業員の家庭から出る古着を回収

- ・ 日鉄住金テクノロジー(株)
- ・ (株)西日本シティ銀行 等

##### ○ 来客用回収ボックス設置

- ・ (株)井筒屋

#### ■ 成果 (H26)

- 回収実績 208トン
  - 市内 176トン
  - 市外 32トン

※H27は約700トンの見込

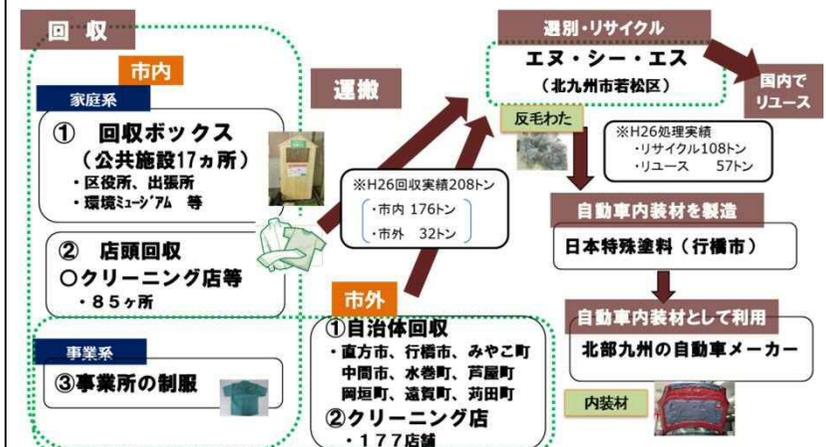


### 古着リサイクル事業の概要

○家庭や事業所から出る古着を自動車用内装材としてリサイクルする官民協働事業

○環境産業と自動車産業が集積する北九州市の地域特性を活かし、北九州市を中核とする「高度な地域循環圏」を構築することにより、ごみの減量・資源化とグリーン成長の推進を目指している

#### <スキーム>



## 高齢者を中心とした健康・生活支援ビジネスの推進

### ○ 主な取組状況

#### 北九州市健康・生活産業 振興協議会のプロジェクト①

- 中小企業家族ぐるみ健康増進プロジェクト  
(株)サンキュードラッグ他)  
身近なドラッグストア店頭における健康改善プログラムの提供と健康データを活用したビジネス化の検証。(経済産業省：健康寿命延伸産業創出推進事業に採択)
- 「おたがいさま推進事業」MOYAIステーション (もやいネット北九州(株)他)  
商店街空き店舗を活用して多世代交流サロン(認知症カフェ、親子カフェ等)を運営する新しいビジネスモデルの実証。



ドラッグストア店頭での健康測定



多世代交流サロン「MOYAIステーション」